

1 概要

- (1) 内政では、ピネラ大統領が4月に立ち上げた「国民の安全のための合意」に関する委員会が最終報告書を発表した。また、6月のAdimark GfK社の世論調査が発表され、大統領支持率は52%（前月比+2ポイント）となった。
- (2) 外交では、ピネラ大統領がジャマイカ（第39回カリコム首脳会合出席）、コスタリカ（アンプエロ外相同行）、パナマ（「ア」外相同行）を訪問し、さらに、アンプエロ外相は、ドミニカ共和国、ベルギー（第二回CELA-C・EU外相会合出席）、フランス及びドイツを訪問した。

2 内政

(1) Adimark GfK 社の世論調査（6月）

6日、当地主要調査機関Adimark GfK社は6月の世論調査結果を発表した。

●大統領（政権）支持率

支持：52%（前回比+2ポイント）、不支持：40%（前回より変化なし）

●所得階層別大統領（政権）支持率

富裕層：66%（前回比+5ポイント）、中間層：56%（前回より変化なし）、

貧困層：44%（前回比+2ポイント）

(2) 国民の安全のための合意に関する委員会最終報告書発表

19日、ピネラ大統領が掲げた5つの合意の一つである、「国民の安全のための合意」に関する委員会の最終報告書が公表され、以下の5つの分野を強化するため、150の提言を行った。

今後、政府は本提言を踏まえつつ、本件分野の政策を推進していくとしている。

- ア 警察機構（警察軍及び刑事警察（PDI））の改革及び強化
- イ 国家情報システム（SIE）
- ウ 銃器の管理
- エ 国民の安全に関する自治体の役割
- オ 刑事事件関係者間の協力

(3) 南部先住民問題

ピネラ政権は発足直後から、アラウカニア州の治安問題を重要事項の一つとして取り組んでいる。「ピ」大統領就任演説の際に掲げた5つの合意にも盛り込まれ、本合意の具体化へ向けて、本年4月に特別委員会を設置し、同委員会の最終報告書は9月に提出予定。そのような中、7月24日、2013年に殺害されたルクシンゲル夫妻の子息、ホルヘ・ルクシンゲル氏と、マプーチェを

代表して祈禱師(マチ)のカジュピル氏及び首長(ロンコ)のノリン氏との歴史的な会合が、モレノ社会開発大臣及びレタマルCONADI長官同席の下実施された。

3 外交

(1) チリ政府要人の外国訪問

ア ピニェラ大統領のジャマイカ、コスタリカ及びパナマ訪問

6～10日、「ピ」大統領はジャマイカ、コスタリカ及びパナマを訪問した。

(ア) ジャマイカ訪問

6～8日、「ピ」大統領はジャマイカを訪問、第39回カリコム首脳会合へ出席し、ホルネス・ジャマイカ首相ほかカリコム諸国首脳(シャスネ・セントルシア首相、ローリー・トリニダード・トバゴ首相、モトリー・バルバドス首相、グレンジャー・ガイアナ大統領)と会談した。

会談において、「ピ」大統領は「ホ」ジャマイカ首相と両国のスポーツ分野での協力に関する宣言書に、「グ」ガイアナ大統領と、エネルギーと鉱業に関する協力に向けての宣言書に各々署名した。

(イ) コスタリカ訪問

9日、「ピ」大統領はコスタリカを訪問し、アルバラード・コスタリカ大統領と会談したほか、両大統領はジェンダー平等及び環境等に関する共同宣言に署名した。

(ウ) パナマ訪問

9～10日、「ピ」大統領はパナマを訪問し、バレーラ・パナマ大統領と会談したほか、両大統領は、税関協力協定、バリューチェーンに関する協力協定、人道支援協力協定に各々署名した。

イ アンブレロ外相のコスタリカ、パナマ及びドミニカ共和国訪問

8～10日、「ア」外相はコスタリカ、パナマ及びドミニカ共和国を訪問した。

(ア) コスタリカ訪問

8～9日、「ア」外相は「ピ」大統領のコスタリカ訪問に同行し、首脳会談に同席したほか、キャンベル第1副大統領兼外相及びアリアス元大統領とそれぞれ会談した。

(イ) パナマ訪問

9日、「ア」外相は「ピ」大統領のパナマ訪問に同行し、首脳会談に同席した。

(ウ) ドミニカ共和国訪問

10～11日、「ア」外相はドミニカ共和国を訪問し、メディーナ大統領を表敬したほか、バルガス外相と会談した。

ウ アンブレロ外相のベルギー、ドイツ及びフランス訪問

16～18日、「ア」外相はベルギー、フランス及びドイツを訪問した。

(ア) ベルギー訪問

16～17日、「ア」外相はベルギーで開催された第二回CELAAC・EU外相会合及びモグリーニ欧州連合外務・安全保障政策上級代表兼欧州委員会副委員長主催の会合に出席したほか、同上級代表とバイ会談を行い、2004年に発効したEU・チリEPAの近代化を進める意向を再確認した。さらに、同外相会合のマージンで、ボレル・スペイン外務・EU・協力大臣、クナイスル・

オーストリア欧州・統合・外務大臣及びメレシュカーヌ・ルーマニア外務大臣と各々バイ会談を行ったほか、アセルボーン・ルクセンブルク外相と両国間のワーキングホリデー協定に署名した。

(イ) ドイツ訪問及びフランス訪問

18日午前、「ア」外相は、ベルリンにて、マース・ドイツ外務大臣と、同日午後パリにて、ル・ドリアン・フランス欧州・外務大臣と各々バイ会談を行った。

(2) 外国要人のチリ訪問

ア ベニテス次期パラグアイ大統領のチリ訪問

3日、ベニテス次期パラグアイ大統領は、ベラスケス次期同国副大統領及びカスティグリオーニ次期外相とともにチリを訪問し、ピニェラ大統領と会談した（アンプエロ外相同席）。

イ ブオン・ディン・フエ・ベトナム副首相のチリ訪問

4日～5日、ブオン・ディン・フエ・ベトナム副首相がチリを訪問し、「ア」外相と会談した。チリ滞在中、フエ・ベトナム副首相は、第3回チリ・ベトナムFTA委員会の議事録署名式へ出席した他、製造業振興協会（SOFOPA）で開催された企業フォーラムへ参加した。

(3) ニカラグア情勢

14日～18日にかけて、外務省及び大統領府は各々ニカラグア情勢に関するプレスリリースを発出した。

ア 14日、チリ政府はニカラグア市民に対する暴力行為及び弾圧を非難し、犠牲者の家族に哀悼の意を表明した。

イ 15日、ピニェラ大統領は、ニカラグアにおいて350名以上もの犠牲者が出たことに対して強く非難した。

ウ 16日、「ア」外相は、外遊先のブリュッセルにて、中南米諸国（ペルー、コロンビア、パラグアイ及びグアテマラ）外相ほかと会合し、ニカラグア危機について話し合った。

エ 同日（16日）、中南米13カ国（アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、グアテマラ、ホンジュラス、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー及びウルグアイ）が共同で、ニカラグア情勢に対する特別宣言を発出した。

オ 18日、米州機構（OAS）常設理事会にて、ニカラグアでの国民対話を呼びかける決議が採択された。

(4) シルバ次期駐米大使の国際司法裁判所における代理人兼任：報道

27日付「ラ・テルセラ」紙は、シルバ次期駐米大使が、ボリビアとの間で国際司法裁判所（ICJ）にて係争中の「海への出口」問題のチリ側共同代理人を引き続き兼任する旨報じた。

(5) チリ外務省声明

ア 西日本豪雨

9日、外務省は、西日本豪雨に関して、深い哀悼の意と連帯の意を表明した。

イ ギリシャ森林火災に対する見舞い

25日、外務省は、ギリシャのアテネ近郊で起きた森林火災に関して、深い哀悼と連帯の意を表明した。

ウ パラグアイ飛行機墜落事故の犠牲者への哀悼の意表明

26日、アンプエロ外相は、同日の飛行機墜落事故により犠牲になったGneitingパラグアイ農牧大臣、Ramirez農牧副大臣及び乗組員に対する哀悼の意を表明した。

エ シリアでのテロ行為に対する非難声明

27日、外務省は、シリアでのテロ行為に対する非難声明を発出した。